

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立向島中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

○言語活動の充実(学びあい学習やグループワークを通した言語力の育成) ○規範意識の醸成 ○基本的生活習慣の確立

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成26年10月7日	評価日	
						評価者・組織	運営委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援 策
1	確かな学力	言語活動の充実と授業改善	すべての教科において学びあい学習やグループワークを意識して取り入れる等を含めた授業改善。 学力向上プロジェクト委員会の活発化	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	授業は分かりやすく工夫されている93% 授業では話し合い活動が取り入れられている90% 毎時間の授業で学習のねらいが示されている89%	⇒	リーディングの指定を受け、学力向上プロジェクトで研究を深め、全教科で学びあい学習やグループワークを何らかの形で取り入れた授業形態が少しずつ定着してきた。 家庭学習では、毎日の英単語学習プリントには取り組んでいるが、総体的に家庭学習の時間が短く、自学自習が出来ていない。	⇒	学校関係者評価による意見
		読書活動の推進	朝読書の取組 昼休みや放課後の図書館開館 ブックフェアの開催	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	朝読書や家庭で進んで読書をしている71%		学びあいやグループ学習に重点を置いた授業改善を推進し、言語活動を充実させる。 授業規律の確立。 授業研修や授業公開を行う。 リーディングの指定に伴い、より研究を深める。 学力向上プロジェクトをさらに機能させる。 家庭学習について、課題の出し方や量等を、学年と教科が連携しながら工夫改善を図る。また、家庭とも連携を深める。		
		家庭学習の充実	毎日の英単語プリント 学習確認プログラムの活用	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	家庭学習を毎日進んで行っている72% 学習確認プログラムを活用し計画的に学習している				
2	豊かな心	温かな学校・学年・学級作り(協働の意識)	毎日の全員清掃の取組 様々な学校や学年行事の取組	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	温かな学校・学年・学級に近づいていると思う92% 学校生活全般として楽しく充実している92%	⇒	全員清掃の取組はずいぶん定着してきた。 音楽コンクールや体育大会などの行事では、自分以外の学級や学年に対して、温かな雰囲気や応援等が出来ていた。 規範意識や人権尊重の態度はおおむね出来ているという回答であるが、細かい校則違反や、ケータイがらみのトラブルはまだ多い。 道徳は、学年道徳や副担任による道徳など工夫を行った。	⇒	学校行事によって、生徒の成長が感じられた。特に3年生が活躍し、学校全体をリードしていることを感じた。 家庭教育における大人の意識の低さが多々見受けられる。引き続き保護者や地域に啓発する機会が必要。
		人権を尊重する意識の向上	人権学習 性教育 国際理解教育 道徳・教科を通した人権教育	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	いじめは絶対に許さないと意識である95% 他者を思いやるなど相手の立場になって考えた行動が出来ている94%		生徒会活動を活発化させる中で、生徒の自主的な高まりを求めたい。 より、コミュニケーション能力が高まるような取組や授業の工夫を行う。 より今日的な課題や、生徒の身近な問題について共に考え行動出来るような学習計画を構築していく。 道徳の公開授業を行う。		
		規範意識の醸成	生徒会を中心とした様々な活動	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	校則はきちんと守れている91% 先生や来校者への挨拶、礼儀、言葉使い、服装はきちんと出来ている95%				
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	生徒会活動の活性化による点検活動と呼びかけ・啓発活動	健康生活アンケート (小中連携) 全国学力調査質問紙	朝食を毎日食べていますか86% 平日ケータイ等の使用時間2、3時間以上29%	⇒	睡眠時間が短く寝るのも遅い。ケータイやテレビ・ビデオにかける時間が長い。よりいっそうの指導・啓発が必要。家庭学習との関連性に対する対策も重要。	⇒	
4	独自の取組	生徒十訓の取組	生徒十訓の日 生徒十訓ぱっちり週間	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 生徒十訓アンケート	生徒十訓を意識して学校生活を送っている83%	⇒	生徒十訓の取組をより推進するために、11個の項目別に実践率を見ている。おおむね良好ではあるが、挨拶や言葉使いなどについてと覚えている率は低い。 小中合同研修会では、小中一貫校創設に向けて、意識の向上に繋がった。分散会で活発な意見交流が出来た。	⇒	小中一貫校創設に向けて具体的に進み出したので、今後のより細かい動きに対しても情報交流が大切である。 生徒十訓の取組は大切であると思われるので、引き続き継続していってほしい。
		小中連携	小中合同研修会の実施 小中各種主任会の実施 オープンスクールの実施				生徒十訓の取組は、生徒のキャリア形成の視点からも重要な実践である。教職員の意識の高揚を徹底し、生徒共に活動を推進していく。 小中一貫校創設に向けて、小中共通の狙いを具現化し、取組の推進と連携をさらに徹底する。		